

みんなであゆみ

あゆみ後援会通信
 Vol. 42
 2014年12月21日発行
 〒410-0201 静岡県伊豆市前
 前公園 1-1-1
 TEL 055-922-2211
 FAX 055-922-2211
 E-MAIL: ayumi@ayumi.or.jp
 HP: http://www.ayumi.or.jp/

秋の多彩な活動

うんどうかい 10月19日

テーマ “ともだちといっしょに力を合わせて”

あゆみ保育園では運動会を身体づくりだけでなく、集団作りの場として考えています。運動会のとりくみの過程において、友だちがする姿を見る機会がたくさんあります。みんな、友達のをよく見ていて、年長児になるとその子に合った適切な応援の言葉かけが自然と出るようになりました。来賓の小学校の先生からも、「応援する子どもたちの姿に感激しました」と嬉しいことばをいただきました。そしてなにより



乳児も幼児もともだちと一緒に力を合わせて、日頃の姿を自然に出すことができた運動会でした。



かるが浜遠足 10月24日

あゆみ保育園は呉市中心部にありますが、ほんのちょっと足をのばせば山、川そして海へと行くことができます。2歳児クラスから年長児まで40名の子どもたちと、引率の保護者や保育士16名、合計56名(!)で呉駅から電車にのって3駅、かるが浜に到着。この日は秋晴れで海がとてもいい気持ちでした。子どもたちは海岸を裸足になってワーッと思いっきり走りまわりました。アスレチックで遊んだあと、海を見ながらお弁当。子どもも大人もしっかり楽しみました。



黒滝山登山 年長児 11月6日



年長児恒例の黒滝山登山です。忠海駅から黒滝山のとがった山頂が見えます。初めは「えーっ、あそこまで登るん!？」と言っていた子どもたちですが、どんぐり拾いをしたり、途中の休憩所で海や船を見たり、岩に囲まれた観音様に手を合わせたり、幸せの鳥居をくぐったり、

長生きするといわれている亀の岩にさわったりしながら頂上へ。頂上からの景色は抜群。瀬戸内の島々、行きかうフェリー、呉線の線路、家々…まるで模型のようにはっきりと見えます。頂上には、鐘撞堂があり、交替でつかせてもらいました。



いもほり 11月7日

毎年、内神にあるOBの方の畑に芋の苗を植えさせていただき、秋には収穫をさせてもらっています。苗の準備・畑作りから途中の水やり・草抜きなど、しっかり管理していただいて感謝感謝です。今年は、1歳児から年長児まで参加しました。1・2歳児は初めての体験で、自分で掘ってお芋が出てきて、本当に大喜びだったそうです。そんな子どもの姿を見て「やっぱり体験するって大事じゃねえ」とクラス担任が再認識したといっていました。帰りは疲れて歩けなくなり、抱っこしなければならなかった子どもいたようですが。



休山登山 年長児 11月12日

黒滝山よりもっと高い休山。今年の年長は去年年中の時も登りました。頂上では、かくれんぼや鬼ごっこをする元気がぶり。下山途中には大きな鬼の像があり、みんなで記念撮影。足をくじいたりする子どももいましたが、「大丈夫?」と声をかけ励ましてもらいながら全員歩き切りました。さすが、帰りは疲れた表情でしたが達成感と爽快感を味わったみんなです。



芋煮会 (二河峡) 11月18日

みんなが掘ったさつまいもで芋煮会をしようと、材料を子どもたちが切って二河峡へ出かけました。2歳児クラス以上が参加なので、片道45分くらいの距離を年長児が小さい子の手を引いて歩いてくれます。二河峡は紅葉が見られ、川のせせらぎも聞こえ、とても気持ち良かったです。河原に降りて石でかまどを作り、大鍋をかけて芋煮づくり開始。油を引いて肉とみんなが切った野菜をいためて…そのようすを子どもたちはぐるりと囲んでじーっと見つめていました。それから、煮えるまでは赤い橋を渡って上のほうへ探検に行きます。「もうお汁できたー?」と帰ってきました。家から持ってきたおむすびと豚汁だけのメニューですが、よく食べる食べる!いつもは野菜いっぱいのお汁はそれほど人気がないのですが、この日は特別。いつもはお代わりしない子もお代わりして食べ、大鍋はあっという間に空っぽになりました。



年末カンパのお願い

「あゆみ会」は「社会福祉法人たまご会」との統合にむけて準備をすすめています。統合に伴う様々な必要経費を、後援会から援助したいと思っております。みなさまのカンパのご協力をお願いします。

郵便振込先
 口座記号・番号 01300-9-65126
 加入者名 あゆみ後援会
 ※直接保育園へもってきていただいても結構です。

行事のお知らせ

あゆみ「もちつき会」のぞあんない

とき 12月21日(日) 9:00~11:00
 ところ 前の公園
 参加費 大人400円、子ども300円

※今年もべったんべったん餅つきを楽しみましょう。美味しいつきたてのお餅をみんなでいただきます。



今年も保育合同研究会に参加しました。毎年参加させていたでいては自分たちが、とくに今回の研究会では自分のクラスの実践「楽しいあそびを通してかわっていった子どもたち」を「3才児の保育」の分科会に提案させてもらいました。

私のクラスは、4月当初落ち着かずトラブルも多かったのですが、皆が一つのあそびを共有し友達といるのが楽しい、友達の気持ちにも気づけるようにと「おおかみと七ひきのこやぎ」のお話をあそびの中に取り入れて、おおかみを探して探検や手紙のやりとり、ロケット弾作りなど通して、クラスが落ち着いてきた様子を発表しました。

実践を出すのは大変な作業ですが、自分の保育を振り返り、成長したクラスの皆のことを発表出来るのは誇らしいことでした。また他の園の実践を聞きながら悩みや喜びを共有し「頑張ろうね」と刺激ももらいました。3才児後半は仲間関係が育つ時期、仲間と一緒に楽しい「友達が好き」と思えるクラス作りを大切にしたいと思いました。

記念講演は「子育てはよるこび」講師山本万喜雄さんのお話の中で、「困った子は困っている子」と言われたのが心に残っています。何に困っているのか寄り添える保育者でもありたいですね。参加させて頂いてありがとうございました。

小林恵

保育団体合同研究会

子育てや保育のこころを、テーマごとに話し合う分科会のほか、保育・子育て・社会問題に関する講座・シンポジウムなど、もりだくさんの企画があります。子どもたちの健やかな発達と明るい未来・平和を保障するために、集い学びあっています。

いきいきサロン “さんぽ”

毎月1回、第3土曜日(月により第2土曜)に約10名の参加でゆったりといろいろな「楽しいこと」を行っています。高齢者が対象ですが、若いお母さんや子どもも参加することもあります。

11月は、歌とフラダンス。ピアノ伴奏で懐かしい歌を歌いました。フラダンスは2回目ですが、ゆっくりとした動きが結構運動になります。終わったら、お茶とお菓子でほっと一息。12月はフラワーアレンジメントでクリスマスツリーを作ります。

皆さん、お気軽に参加してください。お知り合いの高齢者の方にもご紹介ください。

【問合せ】 ヘルパーステーションさんぽ ☎0823・36・5959

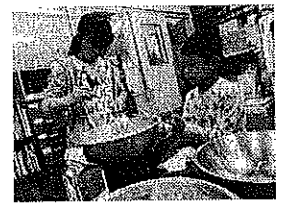


11月いきいきサロン
「歌とフラダンス」

あゆみ学童クラブ通信NO.31より

あゆみ学童クラブ通信

- 11月25日の代休日、ポートピアに行って、マリンパークに行く予定でしたが…まさかの雨。楽しみにしていた、さくらちゃん、おうちちゃんはずごく残念そう。外に出られないということでクッキーを作ることになりました。三和ストアに3人で買い物に行き、クッキーの材料購入。
- 「どれくらい作る？ホットケーキミックス全部使ったら多いよね…」私が言うと「全部使って作ったらいいじゃん!!」とふたり。「じゃあ全部やりますか!!」朝9時半頃からスタート!!
- 卵もふたりが協力し、白身と黄身に分けて分量もきちんと量ってもう真剣!!スタンダードなクッキーだけでなく、チョコレートと2種類作ろう!!ということでチョコを溶かしていきま
- 簡単に溶けると思っていたチョコレートが溶けない。なんでだろう?園本先生に確認すると、「ちょっとでもお湯とか入れるとこんなになるんよ~」と教えてくれました。時間もあ
- りもう一度リベンジ!!溶けるとこまで溶かして丸めて固めました。ホットケーキミックスを全部使ったので、ものすごい量のクッキー!何度も型抜きを繰り返しました。昼前に終わる
- と思っていたクッキー作り。お昼ご飯、休憩、出来上がったのは2時頃でした。
- 先生、お昼寝がなくなった年長組さんにもおすそ分け。「すっごくおいしいじゃん。」「おいしかったよ学童さん!」といわれすごくうれしそうなふたり。持ち帰りもどっさり。お休み
- したはる君、亮ちゃんにもお土産を残しました。



あゆみOBリーエッセイ VOL.37

「あゆみと私」 松江 晴美

— 出会いに感謝して —

息子は、3年間お世話になったあゆみを今年卒業し、小学生になりました。おひさまには引き続き通わせていただいています。
小学校では、入学して初めて出会うお友達がほとんどだったこともあり、不安や緊張で朝「行きたくない」と言う日がしばらく続きました。夏休み明けも同じ状態になりましたが、今はだいぶ落ち着いてきています。

親としても始めは、授業45分間ちゃんと座っているのか心配しましたが、何とかやっているようです。読み書きもほとんど出来なくなりました。これは、本人の頑張り+あゆみ生活で培われた力のおかげなのか、と感じていました。とはいえ、まだまだ息子は苦手なことも多く、特に、文字を書く宿題プリントは、泣きながら物を投げ散らかす位、ストレスなようです。家に帰ると学校生活の緊張感から開放されて、甘えやわがまま全開になります。その気持ちは理解しつつも、私は始めの頃イライラして「宿題はいつやるの?」とせかしていました。でもそうすると息子は反発心をますます親にぶつけてくるようになってしまいました。本人も宿題はやらないといけないと分かっているようだし、と思いつつも、私も考え直しました。あゆみで教わったことを思い出し、本人が気持ちよく切り替えてやる気が出るまで待つことに。そうしたら(毎回かなり時間はかかりますが)、「〇時から宿題やる!」と自分で宣言をし、その時刻になったらテレビを消して机に向かうようになりました。その後も再び「出来ないう」と泣くこともありましたが、こちらも感情的にならないように、親も子どもともに日々修行中です。ついつい出来ない所に注目してしまいましたが、出来ている行動に気づいて褒めながら、励ましていくのが今の目標です。

多くを求めず、今のところは休まずに登校している。これでよし!、と思うようにしています。
これまであゆみと出会って、おひさまと出会って、小学校と出会って、それぞれの出会いに感謝しています。
これから成長するにつれて、さらに乗り越える壁は出てくると思いますが、まわりのお友達と仲良く過ごせるように、そして将来的には、元気に働ける大人になつてくれたら、と願いながら、見守っていきたいと思います。